

三条大橋－四条大橋間 右岸園路舗装の整備について

1. 整備の考え方

- (1) 本区間は、納涼床の設置・撤去に伴い大型車両が通行し、舗装の損傷が生じやすい区間であることから、これまでの整備状況も踏まえ、他区間よりも強度および耐久性を重視した舗装とする。
- (2) 都市部を流れる鴨川であっても河原のような落ち着いた雰囲気を感じられるよう、舗装の色調は、これまで同様に土系とする。
- (3) 芝生部分については、利用者の憩いの場として重要であることから、現状の範囲を維持する。

2. 整備内容について

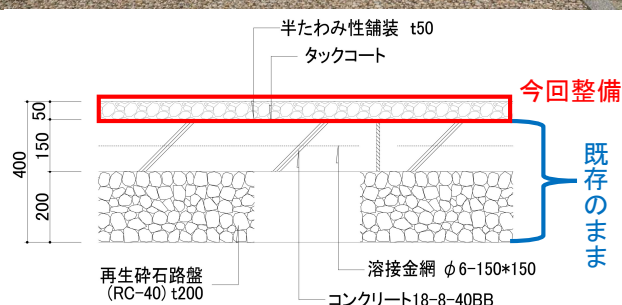
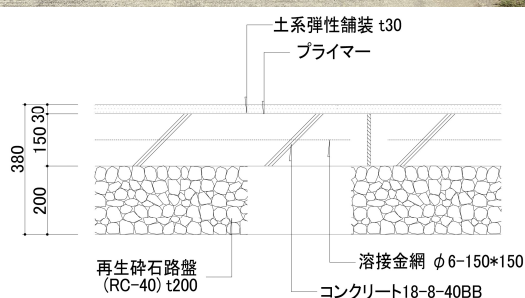
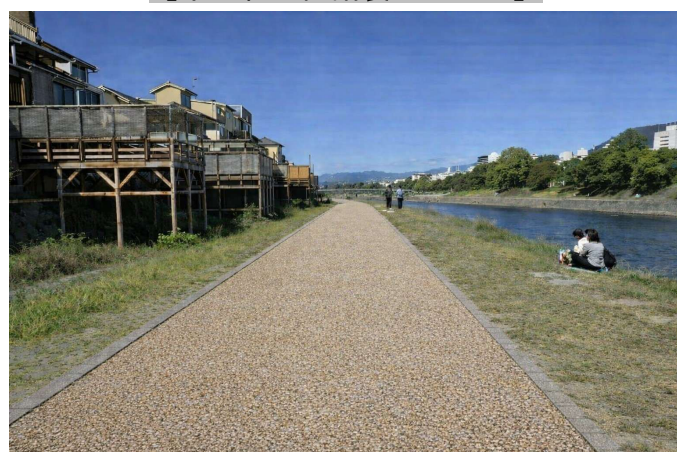
①舗装

- ・より自然な河原の雰囲気を感じられるよう、目地を設けない舗装（半たわみ性舗装）により整備する。
- ・土に近い色調については、工事前に現地で色合わせを行い施工する。

【現状】



【半たわみ性舗装イメージ】



②排水

- ・鴨川側へ横断勾配を付けて、園路表面で排水させる。
- ・園路と芝生部分の間に皿型側溝を設置し、下流側へ縦断的に排水するとともに、一定間隔で設置する柵を通じて鴨川へ排水する。

みそそぎ川側

鴨川側

①雨水は園路表面を流れて、側溝へ

半たわみ性舗装 (t50) 皿型側溝 (450)

標準 1%

既存ベースCon

PC集水柵 (皿型側溝用)

標準 1%

②一定間隔に設置した柵へ集水

③柵から鴨川へ排水

【皿型側溝設置イメージ】

